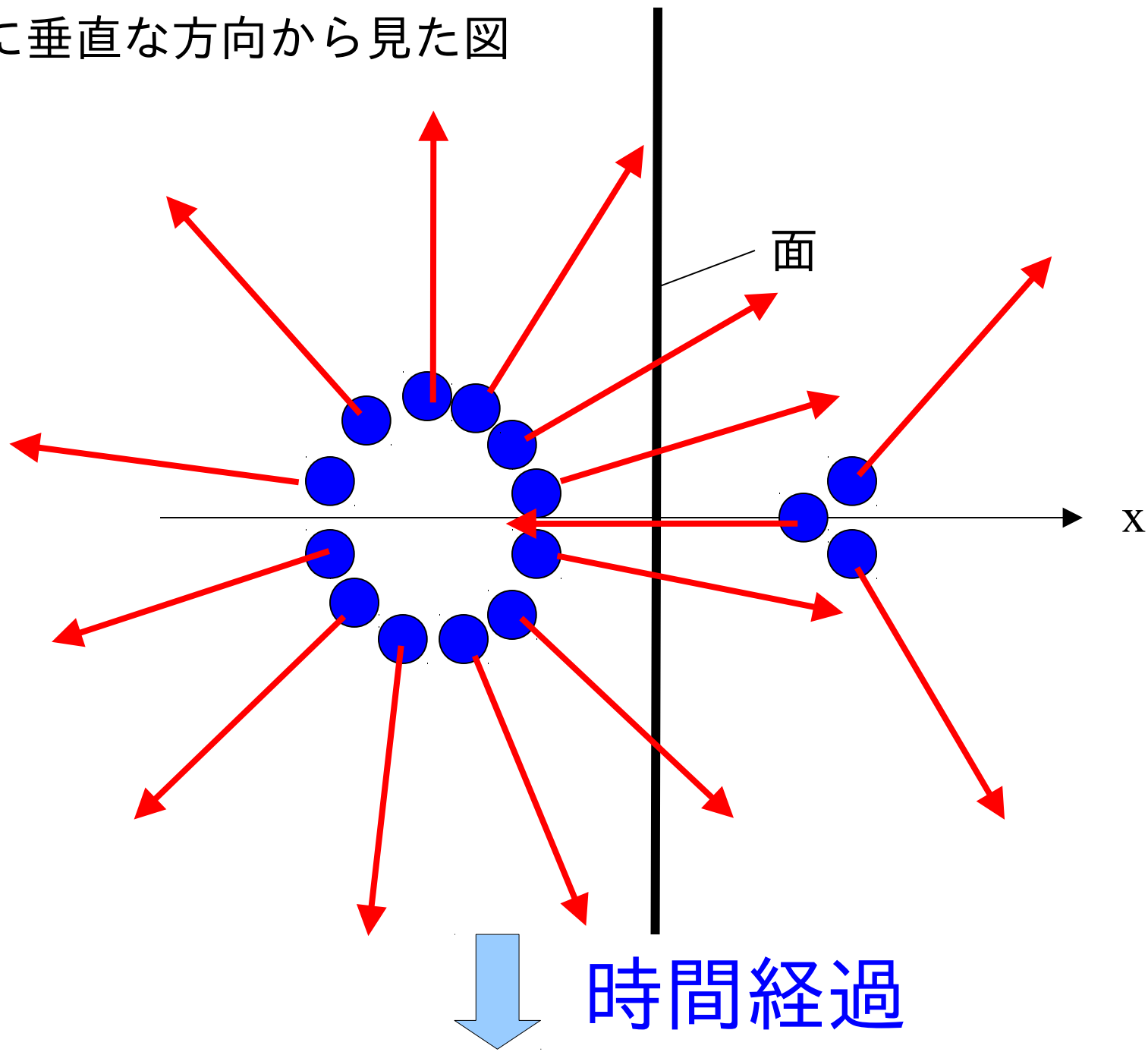
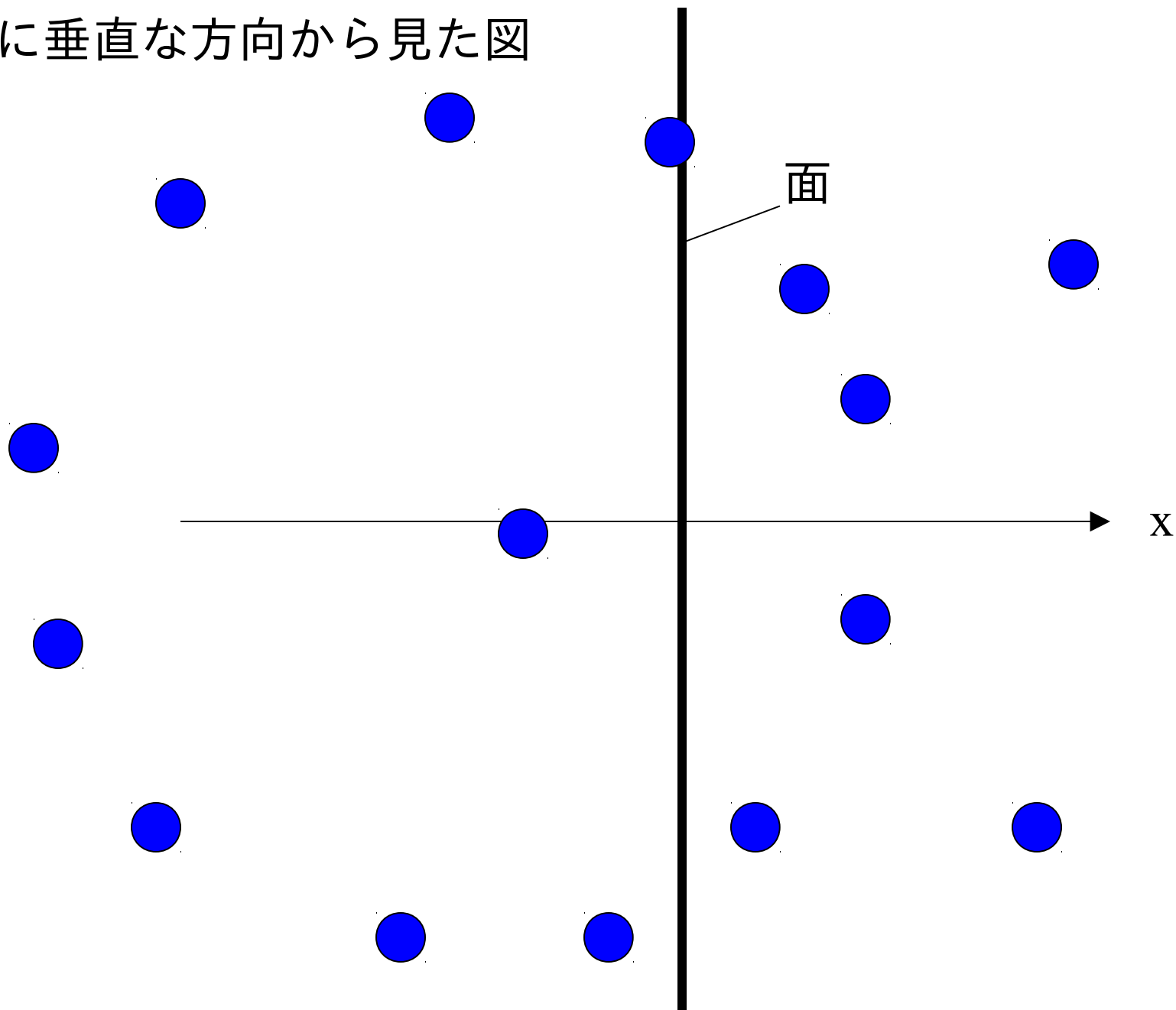


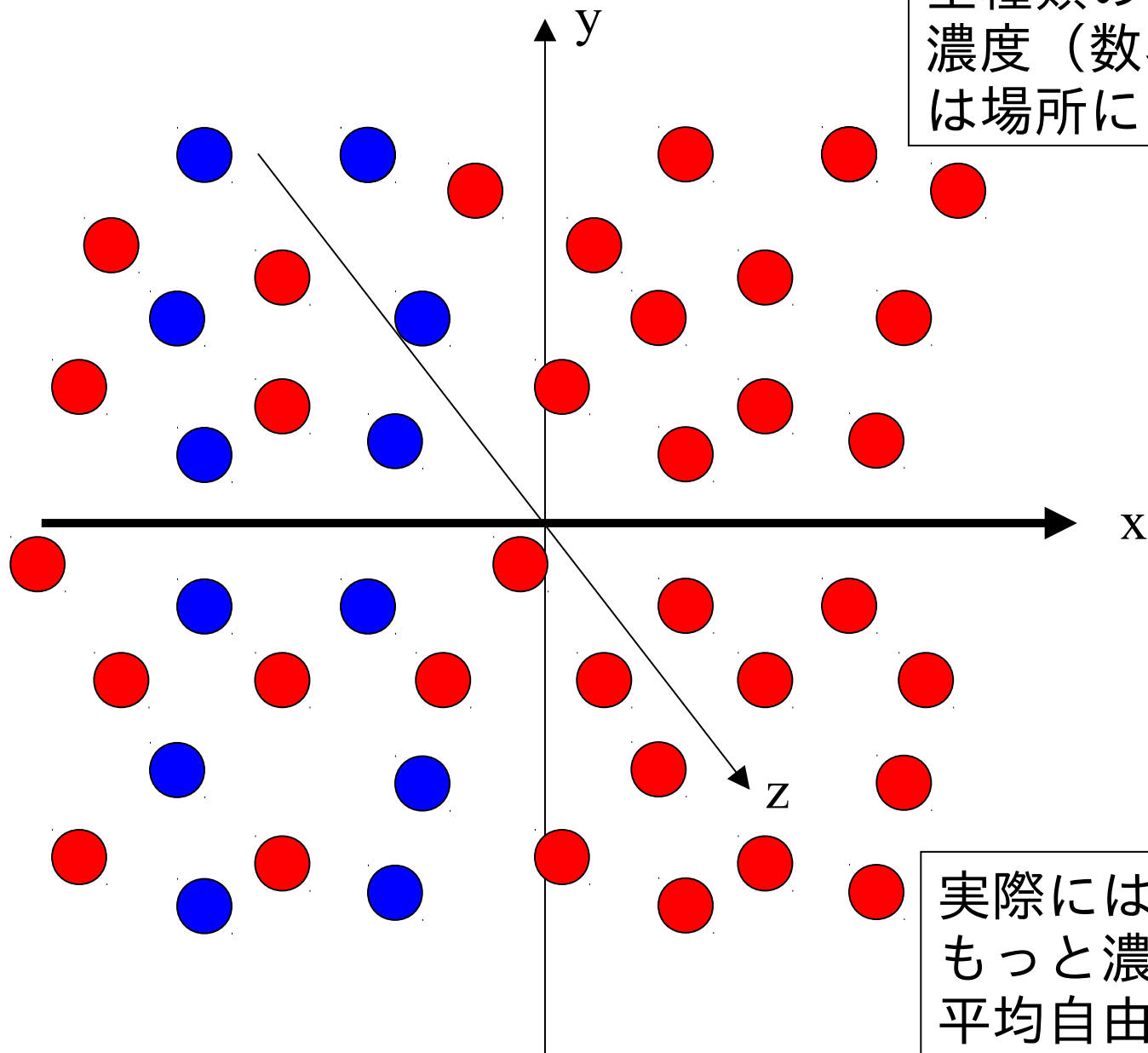
xに垂直な方向から見た図



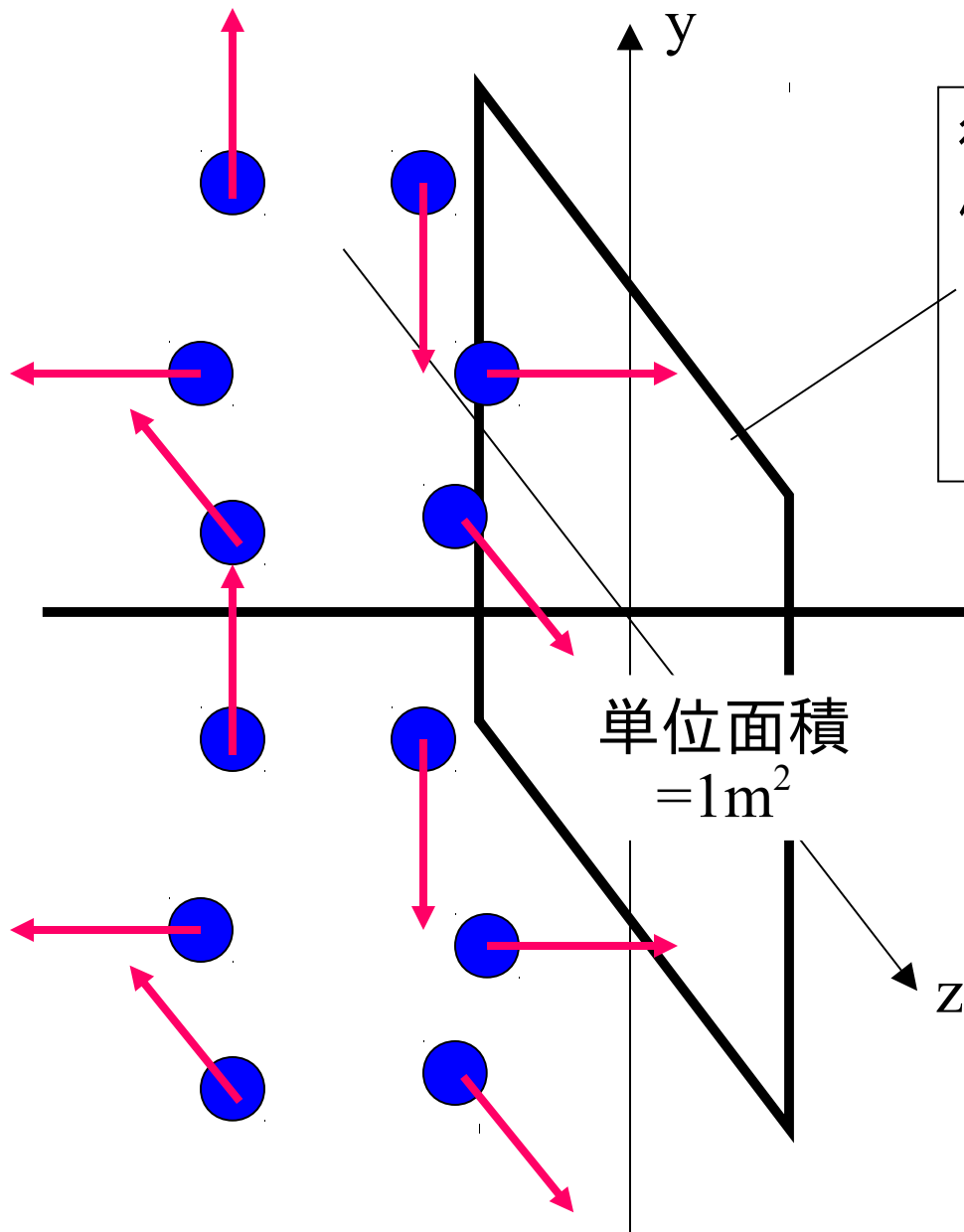
xに垂直な方向から見た図



全種類の気体分子の
濃度（数密度）
は場所によらず、一定



実際には、
もっと濃度が低く、
平均自由行程は長い。



衝突が起こらないような
僅かな時間 Δt の間に
この単位面積を
+x方向に通過する分子数
を求める

全体の1/6の分子は
+x方向に運動していると
仮定する。つまり
そのような分子の
単位体積当りの数は
 $C/6$

裏へ続く

+x方向に運動している
分子の
単位体積当りの数は $C/6$

平均速度 $\langle |v| \rangle$

Δt の間に通り抜ける分子が
存在する体積 $= (1\text{m}^2) \cdot \langle |v| \rangle \Delta t$

Δt の間に単位面積を
通り抜ける分子の数は
 $(1\text{m}^2) \cdot \langle |v| \rangle \Delta t \cdot C / 6$

